

苦土の補給がポイント

桃栽培農家のみなさまへ

キーゼライトで差をつけてみませんか!!

★『キーゼライト』ってなに？

- ◎原産国はドイツ、地下鉱石を原料にした**天然硫酸苦土**
- ◎鉱石由来なので、**長く効く苦土**
- ◎保証成分は水溶性を保証、**効き目も早い吸われやすい苦土**
- ◎粒状品：水溶性苦土24%（粉品は有機JAS別表1適合資材：水溶性苦土27%）



キーゼライトは…

早く効く、そして長く効く水溶性の苦土資材!

★ 苦土はなぜ必要なの？

◎葉っぱの中にある光合成を行う**葉緑素の核**

- ・葉緑素の少ない葉（≒色が薄い）
→光合成がしづらく、樹や実が大きくなりづらい
- ・葉緑素の多い葉（≒色が濃い）
→**光合成が活発になり、養分吸収も促進**

葉緑素が緑色なのは
苦土のおかげ



◎りん酸との相性がよく、**相乗効果でりん酸の吸収を助ける!**

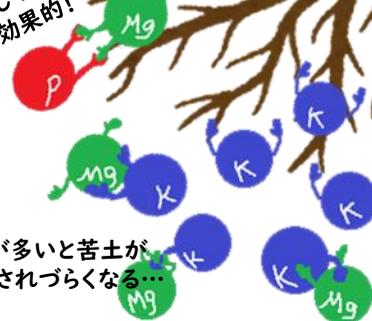
りん酸が十分に吸収できている作物は…

- ・細根が増え、養分が吸収しやすくなります
- ・開花、結実が順調に進みます
- ・光合成が活発になり、養分を蓄えます

苦土とりん酸は仲良し!



りん酸が
吸収しづらい環境で
より効果的!



◎カリ過剰の圃場、**苦土とカリのバランスを整える**

カリが多いと苦土が
吸収されづらくなる…

苦土とカリはバランスが大切!

カリ過剰の圃場では苦土の吸収が抑制されます。

塩基のバランスを整えることで、作物は多くの養分をより吸収できるようになります!

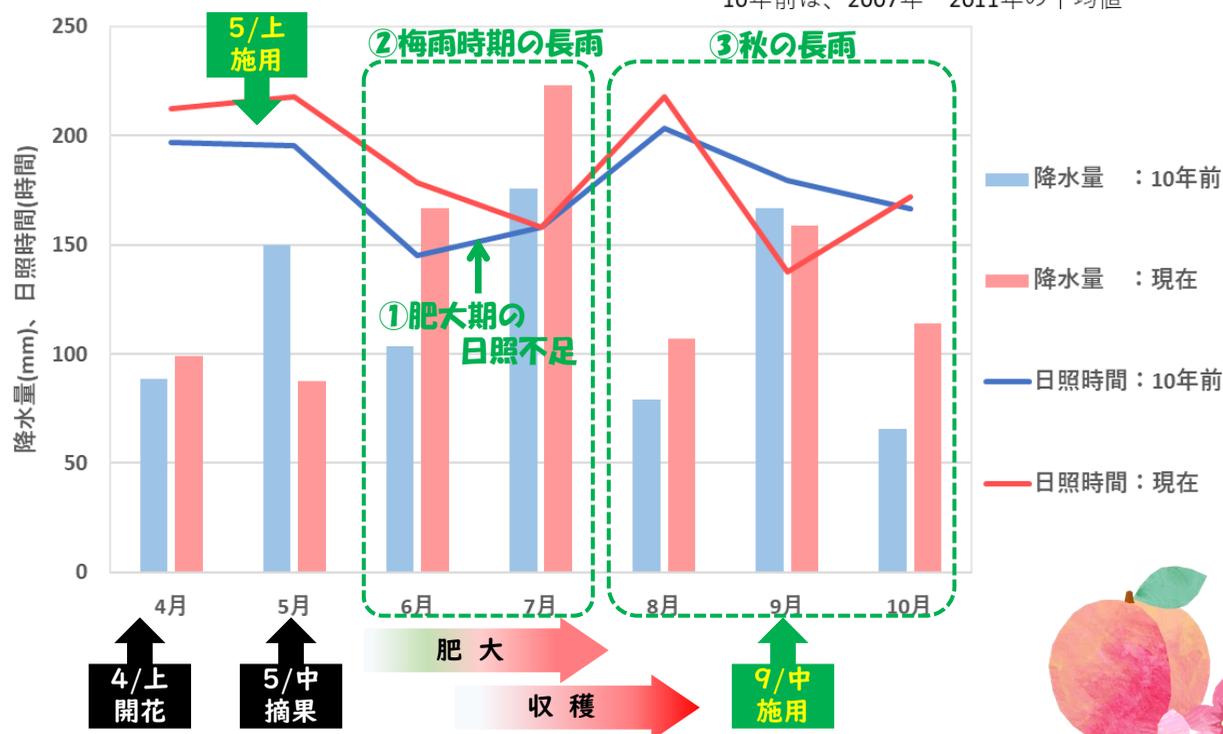
また桃は、ブドウのように目に見えて欠乏症が発生することは少ないですが、他の果樹と比較してより苦土を多く吸収すると言われています。

苦土を効率よく吸収させる「キーゼライト」で、
異常気象にも負けない桃栽培をお助けします!

★ 山梨の桃で『キーゼライト』は効くの？

※現在は直近5年間の平均値（2017～2021年）

10年前は、2007年～2011年の平均値



【摘果後の天候不良】

- ①**肥大期の日照不足**(6月以降の日照が少ない！)
光がないと光合成ができず、肥大が遅れる可能性があります。苦土の施用で**葉色の維持**を目指します！
- ②**梅雨時期の長雨**(特に7月の雨が多い！)
土壌水分が多いと、桃は窒素を中心に吸収し、葉っぱばかりが大きくなり、生理的落果が増えます。苦土を効かせることで、体内の代謝を上げて窒素の過剰を軽減します。

【収穫期以降の天候不良】

- ③**秋の長雨**(梅雨以降も雨が多くなっている！)
収穫時であれば、水分を多く吸収することで糖度が下がったり、玉割れの原因にも…
また、苦土は再転流されやすい養分の為、秋に施用しておくで来春の新芽の揃いにも貢献します。

→近年は昔と比較して（特に肥大期以降）、**日照時間が減り、雨も多く降る傾向。**

キーゼライトは、
早く効く、そして長く効く水溶性の苦土資材です！
長雨による流亡のリスクを低減しつつ、
必要なタイミングで苦土を供給できます！

5月初旬に60kg/10a

- ・葉が大きくなりすぎない
- ・玉の肥大が良い
- ・糖度が安定

9月中旬に60kg/10a

- ・貯蔵養分の蓄積
- ・翌年の新芽が揃う